

児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

工夫している点・改善目標

環境・体制整備

利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保

- ・スペースは十分確保できている。
- ・体育指導などの道具もそろい、動けるスペースもある。
- ・体を動かす広いプレイルーム・勉強に集中できる部屋・休憩スペース・自由に遊べる部屋等、目的に合わせて いたスペースがある。

職員の適切な配置

- ・常勤の職員の他、非常勤の職員も合わせて配置している。

清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保

- ・活動に合わせた遊びに空間をつくり、確保しています。

業務改善

業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画

- ・意見交換や話し合いを積極的に行っている。

職員の資質の向上を行うための研修機会の確保

- ・ある時は必ず一人は出席する。
- ・機会があれば参加したいと思っています。

適切な支援の提供

アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成

- ・子供の課題を一人の指導員だけでなく全員で話し合い作成している。
- ・日頃から職員同士での情報交換を行い、計画書作成の際は、お互いにアドバイスを取り入れる。
- ・一つの課題に対して細かく伝える。

子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成

- ・支援計画を作るにあたり一人で作るのではなく、全体の目から見てつくる。
- ・日々の記録や話し合いを基に一人ひとりに合わせた計画書の作成を心掛けている。

児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載

- ・（連絡ノート）日誌等に現在取り組んでいる事も書き、全員が把握する。
- ・簡潔に伝わる様に工夫した上で、必要であれば口頭で保護者とコミュニケーションを取り、補足している。

児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施

- ・自分達で納得のいく計画を組み入れてやっている。
- ・日々行っている。

児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

工夫している点・改善目標

適切な支援の提供

チーム全体での活動プログラムの立案

- ・立案後、みんなで全体を見直している。
- ・その日その時の人数や子供の様子を見て発案・実行することが多い。

平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援

- ・休日支援は一日の計画を個人に合わせたプログラム。
- ・可能な限り対応している。

活動プログラムが固定化しないような工夫の実施

- ・個人の状態に応じてみんなの意見を取り入れている。
- ・その時の状態に、その子供の様子を見て支援の工夫をしている。

支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底

- ・毎日、その都度確認している。
- ・子供に気になる様子がある場合、即報告し、方向性がバラバラにならない様、支援内容を話し合う。
- ・常に職員一同揃っているわけではないので、互いに気を付けて、今まで以上に連携がとれるように注意していきたい。

支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化

- ・その日の子供達の様子や出来事など報告を行っている。
- ・ミニ集会を必ずするノートに書きとめる。
- ・話し合いや連絡ノートに記録する事により、共有している。

定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し

- ・前もっての聞き取りがあり、私たちの意見も取り入れて、全員の意見を取り入れて作成している。
- ・半年に一度行っている。

関係機関との連携

放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供

- ・これからの課題にしている。

児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進

- ・研修の時間が合わないので受講は出来ていない。

児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供

- ・兄弟を一緒に参加させている。

児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

工夫している点・改善目標

関係機関との連携

事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営

- ・簡単な体操を通してのご高齢者の方々との交流やお店屋さんごっこへの招待など。
- ・高齢者の方と体操、お茶、お買い物ごっこ。

保護者への説明責・連携支援

支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明

- ・昼食・おやつ代の利用者負担はしていません。

児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明

- ・支援の内容を詳しく伝え、活動の方向性をその都度伝えている。
- ・質問があれば、保護者が納得されるまで何度でも説明している。

保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施

- ・利用する時は必ずお話をします。

子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底

- ・保護者との連絡ノートを活用し、必要事項を記入の上、会話でコミュニケーションを取っている。

保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施

- ・メール・電話等でゆっくりと話を聞いて、助言に心掛けている。時には家庭訪問も採用している。

子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応

- ・小さな事を見落とさないようにし、その日のうちに即報告即対応を心掛けている。

障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮

- ・活動概要は、ブログ・連絡ノート・メール・写真等、個別に渡している。

個人情報の取扱いに対する十分な対応

- ・十分配慮している。
- ・利用者から更なる要望があった場合は即対応したい。

児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業者自己評価】

工夫している点・改善目標

保護者への説明責・連携支援

緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底

- ・行っています。

非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施

- ・実施年4回。警報時の避難の場所を決めてある。通知をしている。
- ・避難訓練を行っている。
- ・メールと電話で保護者への対応を行っている。
- ・今後も訓練は定期的に行う。

虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応

- ・別室はカメラで確認して、職員に問題があれば聞き取りをする。

やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載

- ・全職員が、理解・了解を得るように努力する。

食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応

- ・指示通り全員が理解し、行っている。

ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底

- ・スピーディーに対応し、全員が把握し理解する。
- ・常に報告を行い、環境整備や人員配置等、改善すべき点を話し合う。
- ・共に理解し、全員で対応する。